






# 噴火警戒レベル

噴火警戒レベルとは、  
火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や  
住民等の「とるべき防災対応」を「5段階」に区分  
して発表する指標です。

## 【噴火警戒レベル】

【噴火警戒レベル表】

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード		説明			
			レベル	キーワード	火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応	
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル5	避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法を判断）。	
			レベル4	避難準備		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで  火口周辺	レベル3	入山規制		居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて要配慮者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
			レベル2	火口周辺規制		火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1	活火山であることに留意		火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	通常の生活。	特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。

### ※ 噴火警戒レベルの活用にあたっての留意事項

- 1 火山状況によっては、異常が観測されずに噴火する場合もあり、レベルの発表が必ずしも段階を追って順番どおりになるとは限らない。
- 2 各レベルで想定する火山活動の状況及び噴火時等の防災対応に係る対象地域や具体的な対応方法は、地域によって異なる。
- 3 降雨時の土石流等、噴火警報の対象外の現象についても注意が必要であり、その場合には大雨情報等他の情報にも留意する。

※気象庁HPより

## 福島県内火山の噴火警戒レベル

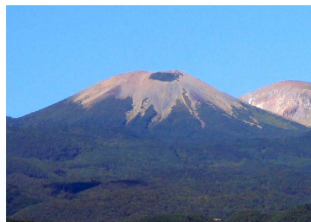
福島県には、吾妻山、安達太良山、磐梯山、沼沢、燧ヶ岳の5つの活火山がありますが、現在、噴火警戒レベル「レベル1」を超える活火山はありません。

噴火警戒レベル「レベル1」：吾妻山、安達太良山、磐梯山（3つ）

噴火警戒レベル「なし」：沼沢、燧ヶ岳（2つ）

## 【福島県内火山の噴火警戒レベル】

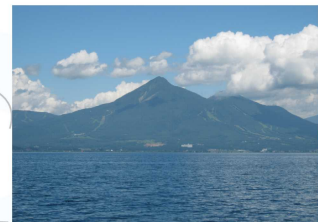
### 【噴火警戒レベル1】



吾妻山



安達太良山

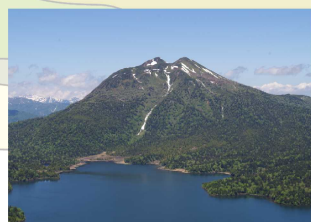


磐梯山

### 【噴火警戒レベルなし】



沼沢



燧ヶ岳

※各火山の詳細については、気象庁のHPで確認してください。

## 福島県に近接する火山の噴火警戒レベル

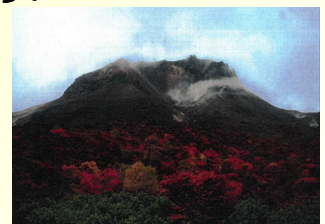
福島県に近接する「常時観測火山」に、那須岳（茶臼岳）があります。

### 【常時観測火山】

那須岳（白河市、西郷村、下郷村）※噴火警戒レベル「レベル1」

約1.6万年前から活動を開始し、溶岩・火砕物を大部分は東山麓に一部は西側の那珂川上流部に堆積されています。

那須岳は溶岩ドーム中央火口（直径100m）の内外に噴気孔が多く、特に西斜面の二つの爆裂火口内では活発な噴気活動が続いており、有史後の噴火は、すべて爆発型で泥流を生じやすい特徴があります。



那須岳

※気象庁HP参照